

平成20年度の情報管理センターの出えん要望額について

情報管理センターが実施する情報管理業務については、平成16年度からの8年間累積収支の均衡を図るにあたって、情報管理料金を130円から230円に値上げ等しても、なおも不足が見込まれる約20.3億円(必要運転資金約1.3億円含む)に対して、平成18年度から平成23年度までの6年間に段階的に特定再資源化預託金等を出えんすることとして、平成18年1月開催の第12回資金管理業務諮問委員会において審議・承認されております。

また、当該年度の出えん要望額の算定については、平成19年3月開催の第18回資金管理業務諮問委員会において、情報管理業務の運営資金に不足がなく、かつ資金余剰が生じぬよう、当該年度の収支状況に加え必要となる運転資金を斟酌して考えることとして審議・承認されております。

これらを踏まえた平成20年度の特定再資源化預託金等の出えん要望額は以下のとおり。

＜平成20年度出えん要望額＞

(単位:百万円)

	平成19年度			平成20年度
	当初予算	実績見込	差異(注1)	予算
前期繰越収支差額	253	266	13	203
収入	673	617	△56	622
支出	908	790	△118	926
当年度収支差額	△235	△173	62	△304
(出えん前)次期繰越収支差額	18	93	75	△101
特定再資源化預託金等出えん額	110	110	0	240
(出えん後)次期繰越収支差額	128	203	75	139

(注1) 改定後の情報管理料金の対象台数が想定を下回ったものの、入札によりコンタクトセンター費用の低減を行ったこと等により75百万円の収支改善が図られた。

上記のとおり平成20年度の収支状況としては特定再資源化預託金等からの出えんを受けない場合、次期繰越収支差額は△101百万円となる見込み。一方、情報管理業務に必要となる運転資金は約130百万円。そのため約240百万円が不足することから、平成20年度の特定再資源化預託金等の出えんを240百万円としてお願いしたい。

以上